

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第5区分

【発行日】平成26年4月24日(2014.4.24)

【公開番号】特開2012-228966(P2012-228966A)

【公開日】平成24年11月22日(2012.11.22)

【年通号数】公開・登録公報2012-049

【出願番号】特願2011-98672(P2011-98672)

【国際特許分類】

B 6 2 M 6/65 (2010.01)

【F I】

B 6 2 M 6/65

【手続補正書】

【提出日】平成26年3月7日(2014.3.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

外周に車輪が結合されるべき円筒形状のハブと、

前記ハブの一面側を貫通し当該ハブを回転自在に支持する第1固定軸部材と、

前記第1固定軸部材と同軸で前記ハブの他面側を貫通し当該ハブを回転自在に支持する第2固定軸部材と、

前記ハブの内部に配置され、前記第1固定軸部材が貫通すると共に前記第1固定軸部材に固定されたモータベースと、

前記モータベースに固定されたステータと、

前記ステータの内周領域に配置され、前記第1固定軸部材に回転自在に支持されたロータと、

前記第2固定軸部材と同軸となる貫通口を有すると共に前記ロータから回転力が入力されて当該ロータの回転速度を減速する減速機構と、

前記ハブの内周面に固定され、前記減速機構の出力側ギアが接続されたリング状の内歯ギアと、

前記貫通口を介して前記第1固定軸部材と前記第2固定軸部材とをそれらの軸線上で連結する第3固定軸部材と、

を含むことを特徴とするインホイールモータ。

【請求項2】

前記第3固定軸部材は、前記第1固定軸部材と前記第2固定軸部材の少なくとも一方と一体形成されることを特徴とする請求項1記載のインホイールモータ。

【請求項3】

前記モータベースは、前記ステータの少なくとも一部を前記ハブ内部に露出させる露出口を有することを特徴とする請求項1または請求項2記載のインホイールモータ。

【請求項4】

前記ハブは、一方に開口部を有するカップ形状の第1部材と、前記開口部を封止する円板形状の第2部材とで構成されることを特徴とする請求項1から請求項3のいずれか1項に記載のインホイールモータ。

【請求項5】

前記減速機構は、入力側の太陽ギアとそれと噛合する複数の遊星ギアで構成され、前記

遊星ギアの数が2～5であり、

前記遊星ギアは、前記第2固定軸部材に固定されたギアケースに植設されたギア固定軸に、当該ギア固定軸の軸方向の移動を規制しつつ前記遊星ギアと共に回転する一対のワッシャで挟まれて位置決めされることを特徴とする請求項1から請求項4のいずれか1項に記載のインホイールモータ。

【請求項6】

前記ワッシャは、自己潤滑性のある材質で形成され、

前記ギアケースと前記遊星ギアとの間に弾性部材を介在させたことを特徴とする請求項5に記載のインホイールモータ。